



岩井コスモ証券 ASK 支援寄金 平成 29 年度助成対象者決定について

アートサポート関西（通称 ASK）は、昨年、岩井コスモ証券様からの 2,000 万円の寄付で設置された「岩井コスモ証券 ASK 支援寄金」より、今後 5 年間に渡り、高い水準の活動を行う関西の若手芸術家を支援することとなり、この度、平成 29 年度の助成対象者 7 名が決定しましたのでお知らせいたします。

アートサポート関西（ASK）とは

平成 26 年 4 月に公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会内で始動した関西の芸術文化を支援する取り組み。関西経済同友会 歴史・文化振興委員会（委員長 鳥井信吾）の提言「大阪版アーツカウンシル『タニマチ文化評議会』（仮称）の創設を」（H24 年）を受けて設立。100%民間の取り組みとして、寄付を広く集め、関西の芸術文化の支援を行うほか、寄付者とアーティストとの相互交流にも積極的に取り組む。設立以来 3 年間（H26～28 年）で約 9,500 万円の寄付を集め、美術、音楽、舞台芸術、伝統芸能などの活動を行う約 50 の団体・個人を支援してまいりました。

岩井コスモ証券 ASK 支援寄金とは

岩井コスモ証券の創業 100 周年を記念し、平成 28 年 10 月にアートサポート関西に設置された 2,000 万円の関西の芸術・文化を支援するファンド。**平成 29 年～34 年の 5 年間に渡り毎年 400 万円**を、関西圏（※）において美術・デザイン、音楽、伝統芸能の分野で国際的な水準の活動を行う、高い将来性を備えた**若い芸術家個人を対象**に、助成金として交付します。

（※関西元気文化圏に準じた、京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県、福井県、三重県、徳島県、鳥取県）

助成対象者は公募審査によって選ばれます。11 月～12 月末に助成申請を受け付け、芸術・文化の専門家で構成された評価・審査委員会の審査および運営委員会等の承認をえて助成対象者が決定されます。第 1 回目となる今回の平成 29 年度の助成では、これからの関西の芸術・文化を担うであろう、高い将来性を備えた若手芸術家 7 名を支援することとなりました（別紙参照）。

今回の助成対象者 7 名のうち、6 名については 5 年間の継続助成を希望しており、次年度の助成金交付にあたっては、あらためて前年度の活動実績の評価の後、助成交付の判断を行います。

また、助成金の交付を受ける芸術家の方々には、ASK のアンバサダーとして、寄付者および関西の経済界の識者の方々とも積極的に交流をしていただき、芸術・文化振興や寄付文化の醸成にむけた活動にもご協力いただく予定です。

リリースに関するお問い合わせ先：

公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会内 アートサポート関西事務局 担当：大島賛都

Email: ask@osaka21.or.jp, TEL: 06-7507-2004, FAX: 06-7507-5945

氏名	分野・ジャンル	活動内容	助成金額
 <p>周防 亮介 (21) すほう・りょうすけ</p>	<p>《音楽》 ヴァイオリン</p>	<p>12歳で京都市交響楽団と共演。ソリストとして早くから才能を発揮。2010年オISTRAフ国際コンクール最高位、2014年出光音楽賞などを受賞多数。国内主要オーケストラと数多くの共演を果たし、テレビ番組「題名のない音楽会」にも出演。ASKでは海外レッスンやコンクールへの参加を支援予定。</p>	<p>60万円 (継続希望)</p>
 <p>松原 智美 (34) まつばら・ともみ</p>	<p>《音楽》 クラシック・ア コーディオン</p>	<p>日本有数のクラシック・アコーディオン奏者。ドイツ国立 Folkwang 芸術大学卒。ソロ演奏、国内外のオーケストラや室内アンサンブルとの共演などクラシック音楽中心の演奏活動のほか、他ジャンルの奏者との共演、アコーディオンのための現代作品の委嘱、楽器に関する講座を開催するなど幅広い活動を行い、普及発展にも貢献。ASKは彼女の活動全般を支援する。</p>	<p>60万円 (継続希望)</p>
 <p>森口 綾子 (35) もりぐち・りょうこ</p>	<p>《音楽》 ピアノ</p>	<p>愛知県立芸大首席卒業。パリ国立地方音楽院首席卒業。第2回名古屋国際音楽コンクール第1位、第14回シアンブリーコンクール(フランス)優勝など国内外で受賞多数。自身の経験を踏まえ、育児との両立を図る高い水準を持つ演奏家たちのコンサートを開催してきた。ASKは主にこの活動を支援予定。</p>	<p>50万円 (継続希望)</p>
 <p>湯川 洋康 (35) ゆかわ・ひろやす</p>	<p>《美術》 インスタレー ション</p>	<p>地域にまつわる習慣、歴史、習俗などを過去から入念に調査し、それらを写真、彫刻、映像などの多様なメディアを介して、より鮮烈で印象的な表現に転化して伝える取り組みを続ける。今年、デンマークに招かれて、現地の風習や歴史を取り込んだ作品を制作し発表する。ASKはその取り組みを支援する。</p>	<p>50万円</p>
 <p>前谷 康太郎 (32) まえたに・こうたろう</p>	<p>《美術》 映像表現</p>	<p>コンピューターに頼った映像とは別の形で、映像が写しだすイメージを特殊な光学装置を使ってぼやかしたり、形の原型に還元したりして、映像と物体との中間のような表現に取り組む。今年、オランダに滞在し、現地の霧を素材にした映像作品を制作予定。ASKはその取り組みを中心に支援する。</p>	<p>50万円 (継続希望)</p>
 <p>野原 万里絵 (29) のはら・まりえ</p>	<p>《美術》 絵画</p>	<p>画家が一人で絵を完成させるのではなく、いろいろな人との共同作業を通して巨大な「絵」を制作する取り組みを行う。これまで「御堂筋」や「甲子園」といった場所の要素を反映させた“クモ定規”を作り、それを複数の人に渡して、野原が描いた下絵に上塗りをしてもらう。今年北欧の工芸品の調査を予定しており、ASKは主にその支援を予定。</p>	<p>60万円 (継続希望)</p>
 <p>榎茂都 梅弥月 (34) うめもと・うめみづき</p>	<p>《伝統芸能》 上方舞</p>	<p>上方舞「榎茂都流」師範として上方舞の継承・発展に取り組む一方、モダンダンサーとしても活動。舞台活動のほか江戸時代の譜本「型付け」の研究にも取り組む。今年、大阪歴史博物館が収蔵する950点の譜本の解読作業を行う研究会を発足予定。ASKは主にこの取り組みを支援する予定。</p>	<p>70万円 (継続希望)</p>